

【福島県玉川村】

校務DX計画

文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、以下の取り組みや検討を行い、校務DXを推進する。

1 F A X ・ 押印の原則廃止

災害時や教育系ネットワークの不具合時など、F A Xの方が効率的となる場合を除き、F A Xの原則廃止に向けた業務の見直しや関係機関への働きかけを行う。

押印の原則廃止に向けては、業務の見直しを行い、関係規則の改正を行う。

2 校務系及び学習系ネットワークの統合

教職員一人一人の事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方を可能とするため、ゼロトラストの考え方に基づくアクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じた上で、ロケーションフリーで校務系・学習系ネットワークへの接続可能な環境の整備（教職員用端末の一台化を含む）に向けた検討を進める。

3 教育情報セキュリティポリシーの策定

現在、本村教育委員会及び村立学校においては、玉川村情報セキュリティポリシーを準用している。上記ゼロトラストセキュリティの実現を目指すにあたり、クラウド活用を前提とした校務環境等に対応するため、教育情報セキュリティポリシーの策定を行う。

4 次世代型校務支援システムの導入検討

村立学校においては、令和3年度よりプライベートクラウド上で運用する統合型校務支援システムを利用している。校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一掃に向け、業務手順の見直しを行う。

また、文部科学省が示す「パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システム」の導入に向けた検討を行う。